

原文

修正文

人類の分類について、誤解するおそれのある表現である。

② 世界の言語と語族

人類を言語系統によって分類したものが「語族」である。「民族」は言語・習慣・伝統など文化の共通性に着目した分類だが、歴史的・社会的に形成された集団の自己意識にもとづくもので、客観的な基準とはいえない。「人種」は皮膚や目や毛髪の色など身体の特徴による分類だが、近年の科学研究によって分類の根拠は否定されている。

②世界の言語と語族

「語族」とは、世界のさまざまな言語を比較し、同一の祖語から派生したと考えられるグループをいう。

キーワード

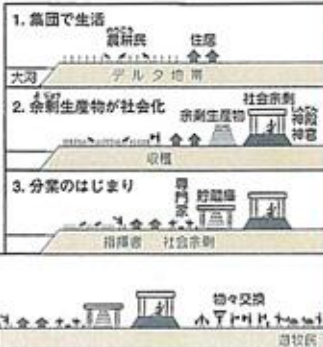
民族

「民族」は、言語・習慣・伝統など文化の共通性にもとづいて、同じ祖先をもつと意識された人間集団のことである。外敵との戦争など、体験をともにすることで人為的に形成されることが多く、客観的な分類の基準があるわけではない。集団に帰属する人間の意識の産物である。

(*関連修正 p.7 側注欄)

(意見番号1番の修正に伴い、記載されていた「民族」に関する内容を側注欄 キーワードにする。その際、設置スペースが不足するため、p.7 図③を削除する)

▼③ 農耕社会と国家の発生 (河出書房新社「世界の歴史」)



(意見番号1番の修正に伴い削除)